

2019 年度

韓国コース派遣留学報告書

留学先：慶熙大学

留学期間：8月31日（土）～12月26日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018051
重野俊介

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3
	4 - 1 留学のスケジュール	3
	4 - 2 研修留学の詳細	6
5	所感	8
6	おわりに	8
	謝辞	8

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 留学先及び実習期間

研修先：慶熙大学 国際教育院

研修期間：令和元年8月31日（土）～令和元年12月26日（木）

2 留学先概要

(1) 大学について

慶熙大学は1949年に設置された大韓民国の私立大学である。現在は、多数の学部、学生を抱える韓国有数の総合大学である。ソウル、水原、光陵の三か所にキャンパスを設置しており、本部はソウルキャンパスである。また、国際化に力を入れており世界78カ国、508校の大学と交流協定を締結している。

(2) 大学で行われている教育について

慶熙大学は入校した際最初にレベル分けテストを実施している。この結果をもとに自分自身のレベルに最適なクラスに振り分けられる。クラスは初級1・2、中級1・2、上級1・2の6段階のクラスに分かれる。また、1クラス10～15と少人数のため一人一人に親身になってもらえる。学外では「トウミ（チューター）制度」という慶熙大学に通っている生徒が留学生の韓国での生活、韓国語、韓国文化の学習をサポートする制度がある。学内では学べない部分も学ことができ、韓国をより理解することができる。

3 留学目的

今回の留学の目的は日本での学習では学ぶことが難しい現地の本質的部分を学ぶことだ。韓国語、韓国文化を学ぶにしても、常に韓国語がある生活とない生活には大きな差があると考えられる。文化学習でも実際に現地行くことで教材では補うことのできない本質的部分を学ぶことができると考える。なので、日本の学習だけでは学べない現地の人たちとの会話、様々な場所に行き自分自身の肌で感じることを目標とした。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日（曜日）	午前	午後
8	31（土）	到着	入寮
9	1（日）	自由	
	2（月）	オリエンテーション・クラス分けテスト	
	3（火）	韓国語（初級1）	韓国事情（特講）

	4 (水)	韓国語	セミナー
	5 (木)	現地学習 (ロッテワールド)	
	6 (金)	韓国語	
	9 (月)	韓国語	映像韓国語
	10 (火)	韓国語	セミナー
	11 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
	12 (木)	秋夕 (チュソク) 休み	
	13 (金)		
	16 (月)	韓国語	映像韓国語
	17 (火)	韓国語	セミナー
	18 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
	19 (木)	現地学習 (N ソウルタワー・国立中央博物館)	
	20 (金)	韓国語	
	23 (月)	韓国語	映像韓国語
	24 (火)	韓国語	セミナー
	25 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
	26 (木)	韓国語	韓国の歌
	27 (金)	韓国語	
	30 (月)	秋学期説明会	
10	1 (火)	韓国語 (初級2)	韓国事情 (特講)
	2 (水)	韓国語	セミナー
	3 (木)	建国記念日	
	4 (金)	韓国語	
	7 (月)	韓国語	映像韓国語
	8 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
	9 (水)	ハンゲルの日	
	10 (木)	韓国語	韓国の歌
	11 (金)	韓国語	
	14 (月)	韓国語	映像韓国語
	15 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
	16 (水)	韓国語	セミナー
	17 (木)	韓国語	韓国の歌
	18 (金)	韓国語	
	21 (月)	韓国語	映像韓国語

	22 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
	23 (水)	韓国語	セミナー
	24 (木)	韓国語	韓国の歌
	25 (金)	韓国語	
	28 (月)	韓国語	映像韓国語
	29 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
	30 (水)	韓国語	セミナー
	31 (木)	韓国語	韓国の歌
11	1 (金)	韓国語	
	4 (月)	韓国語	映像韓国語
	5 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
	6 (水)	中間考査	
	7 (木)	韓国語	
	8 (金)	韓国語	
	11 (月)	現地学習 (南怡島)	
	12 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
	13 (水)	韓国語	セミナー
	14 (木)	韓国語	韓国の歌
	15 (金)	韓国語	
	18 (月)	韓国語	映像韓国語
	19 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
	20 (水)	韓国語	セミナー
	21 (木)	韓国語	韓国の歌
	22 (金)	韓国語	
	25 (月)	韓国語	映像韓国語
	26 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
	27 (水)	韓国語	セミナー
	28 (木)	韓国語	韓国の歌
29 (金)	韓国語		
12	2 (月)	韓国語	映像韓国語
	3 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
	4 (水)	韓国語	セミナー
	5 (木)	期末考査	
	6 (金)	期末考査	

9 (月)	韓国語	映像韓国語
10 (火)	韓国語	韓国事情 (特講)
11 (水)	修了式	
12 (木)	TOPIC 対策抗議	
13 (金)	TOPIC 対策抗議	
16 (月)	TOPIC 対策抗議	映像韓国語
17 (火)	TOPIC 対策抗議	韓国事情 (特講)
18 (水)	TOPIC 対策抗議	セミナー
19 (木)	修了式	
20 (金) ～	自由研修	
25 (水)		
26 (木)	帰国	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)初級1

文法、リスニング、スピーキングなどを主に教材を利用して学習した。日本での学習の復習、補填することを目的とした。この時のクラスは国際情報大学の生徒のみで行った。

ii)初級2

一日の授業が4部に分かれており、最初の2部は毎日文法の学習を行い、後半の2部はリスニング、スピーキング、ライティング、リーディングを日替わりで行った。後半の2部は様々な状況に適用できる力をつけることを目的とした。この時のクラスは多様な国籍の学生が在籍した。

iii)映像韓国語

脚本、キャスト、カメラマン、監督を学生たちで役割分担して映画を撮影した。この映画はすべて韓国語で行うため、日常会話の能力のレベルアップにつながった。この授業は毎週月曜日に実施された。

iv)韓国事情 (特講)

主に、韓国伝統武術であるテコンドー、伝統楽器であるチャングムなど韓国の伝統的文化を実際に体験することを目的とし、行った。毎週違う内容の授業が行われた。この授業は毎週火曜日に実施された。

v) セミナー

前半は主に単語など授業では補いきれない部分の補填をした。後半は日韓の文化の違いをまとめ発表することを最終目的とし、授業を行った。発表はパワーポイントを使い行うため、その過程である資料集め、パワーポイントの制作、発表をすべて韓国語で行った。人前で韓国語を使い、発表を行うという経験になった。この授業は毎週水曜日に実施された。

vi) 韓国の歌

韓国の歌の歌詞を訳し、韓国の音楽を学んだ。チームを作り、チームごとに一つ紹介したい音楽を決めパワーポイントを制作して発表した。知らなかった音楽にも触れられることができた。この授業は毎週木曜日に実施された。

vii) 現地学習 (特講)

現地学習は初級1の際は計2回行われた。ロッテワールドアクアリウム・ロッテワールドアドベンチャー・Nソウルタワー・国立中央博物館に行った。初級2の際は1度行われた。南怡島に行った。

viii) 中間考査・期末考査

文法、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの5科目を二日間に分けて行った。スピーキングテスト以外は日本と同じように行われた。スピーキングテストは1対1の形式と、クラスメイトと2人1組で行う2つの形式がとられた。

ix) TOPIC 対策抗議

この授業は国際情報大学の生徒のみでTOPICの試験を受けるために行われた。

x) 修了式

1学期が終わった際に行われる。国際情報大学の生徒は全体の修了式に参加するがここでは卒業証書を受け取らずTOPICの授業がすべて終わった後に国際情報大学の生徒のみで修了式が行われた。

xi) 自由研修

各自行きたい場所に行き、それぞれで学びの場を広げた。

5 当初目的・目標への達成度

当初の自分自身の目標であった日本の学習だけでは学べない現地の人たちとの会話、様々

な場所に行き、自分自身の肌で感じるということを達成できたと考える。この目標は授業やトウミとの日々の学びがあったからこそ実現できたと考える。トウミには勉強面だけでなく、ご飯の食べ方など日本と韓国の違和感を覚えた部分を実際に質問でき、とても勉強になった。そして韓国人が日本人に対して違和感を覚える部分を聞け、さらに日韓の文化の理解度が向上した。授業では昨日知らなかった文法を日々学ぶことができ、自分自身の韓国語能力の向上を実感することができた。学んだ韓国語を利用し、クラスメイトの出身国の文化も学ぶことができた。現地学習では、韓国の伝統的文化を学ぶことができた。実際に自分の眼で見ることで多方面から観察し、学ぶことができた。このことから私自身の目標を達成できたと考える。

6 反省・課題

この留学での一番の反省点は食事の際、決められた店舗にしか行かなかったことだ。韓国にはたくさんのご飯屋さんがあった。しかし、安くて美味しい店を何個か見つけ、毎週同じ曜日にそこにご飯を食べに行っていた。食文化も留学に来たからこそ学べる一つの文化だった。もっと沢山のご飯屋さんに行くべきだったと今でも考える。これが留学での一番の反省であり、心残りだ。これからの課題は韓国語の学習は留学が到達点ではなく、通過点ととらえ、これからさらに語学力の向上につとめることだ。

謝辞

今回、私たちの留学を受け入れて頂いた慶熙大学の方々、特に私たちの一番身近にいて生活を手助けして下さったソク・ジンジュ先生、キム・ウンジョン先生、日本から支えてくれたシン・ウンジョン先生を始め私たちの留学生活を手助けして下さった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。最後になりましたが、新潟国際情報大学から頂きました奨学金によりこの留学参加を実現させることができました。おかげで一生の宝になる体験をすることができました。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い致します。

付録：研修日誌

8月31日 土曜日 午前
出発 13:30 新潟空港
担当 吉澤先生
内容 ・新潟空港で吉澤先生と合流。 ・新潟空港から韓国まで飛行機で移動 ・韓国で入国審査

・空港から寮まで移動

移動の所感

飛行機で約2時間の移動のあと、バスで約2時間の移動。計4時間の移動時間だった。

9月5日 木曜日
現地学習 (ロッテワールド)
担当 ソク・ジンジュ先生
研修内容 ・学校からバスでロッテワールドまで移動 ・ロッテワールドアクアリウム見学 ・ロッテワールドアドベンチャー見学 ・ロッテワールドからバスで学校まで移動

現地学習の内容

水族館見学、遊園地見学をした。これが最初の見地学習だった。クラスメイトとの距離も縮まりより親しくなった。

9月19日 土曜日
現地学習 (N ソウルタワー・国立中央博物館)
クラス教員名 ソク・ジンジュ先生
研修内容 ・学校からバスでN ソウルタワーまで移動 ・N ソウルタワー見学 ・N ソウルタワーからバスで国立中央博物館まで移動 ・国立中央博物館見学 ・国立中央博物館からバスで学校まで移動

現地学習内容

N ソウルタワー、国立中央博物館を見学した。国立中央博物館では韓国文化をまなぶことができた。

11月11日 月曜日

現地学習（南怡島）
クラス教員名
研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ・学校からバスで南怡島まで移動。その後、船に乗り移動 ・南怡島見学 ・南怡島から船とバスを乗り継ぎ学校まで移動

現地学習内容

南怡島では紅葉を見学した。冬のソナタのロケ地だけあって雰囲気がとてもよかった。

12月26日 木曜日 午前
出発 6:15 寮
クラス教員名 チョン・ダビン先生
研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ・寮からバスで空港まで移動 ・空港から飛行機で日本まで移動 ・日本に到着

移動の所感

朝が早く大変だったが、昼までに日本に到着することができた。